

令和7年度公開臨海・臨湖・センター実習 実施計画書

実習タイトル	能登半島の海洋動物相に関する実習		
実習内容	海洋には様々な生物が棲息しており、陸上には見られない多くの分類群が独特な生活を送っています。本施設が位置する能登半島周辺は、地形の複雑さによる多様な海洋生物の観察が可能であるとともに、潮間帯の構造が太平洋側と異なっていることから海洋生物の分布にも特徴が認められます。 本実習では、夏の能登半島における海洋動物の採集・観察・同定を行う野外実習を行います。沿岸性の底生動物を対象に磯での採集を行います。潮位差が少ない日本海側の海岸で主に海産無脊椎動物を採集します。また乗船実習では、プランクトンネットによる浮遊生物の採集を行います。同時に海洋観測を行い、海洋環境と動物分布の関連についても考察します。採集した生物は施設に持ち帰り、実習中の講義に基づいた知識や図鑑を参考に、生物を肉眼および顕微鏡で観察・同定します。さらに講義では、多様な海洋動物相が存在する背景や知識を学習します。 このような取り組みで、能登半島の海洋動物相の多様性を理解・実感することが本実習の目的です。		
実習内容キーワード	乗船、磯採集、海産無脊椎動物		
担当教員氏名・所属・役職名	鈴木信雄（環日本海域環境研究センター・教授）・松原 創（生命理工学系・教授） ・関口俊男（環日本海域環境研究センター・准教授）・木谷洋一郎（環日本海域環境研究センター・准教授）		
協力教員氏名・所属・役職名	布村 昇（環日本海域環境研究センター・連携研究員）・のと海洋ふれあいセンター		
対象学生・学年	学部1年、学部2年、学部3年、学部4年、修士、博士、これまでに高専の学生を受け入れたことがある	開講期間	2025年8月25日（月）～8月27日（水）
開講大学・施設名	金沢大学環日本海域環境研究センター・臨海実験施設		
施設の住所	〒927-0553 石川県鳳珠郡能登町小木ム 4-1		
電話	0768-74-1151	Fax	0768-74-1644
e-mail	nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp	Web Site	http://rinkai.w3.kanazawa-u.ac.jp/
交通案内	宿泊棟が復旧して、能登の臨海実験施設に宿泊して実施します。金沢駅より実習施設まで往復ともマイクロバスで送迎予定です。8月25日、金沢駅に11時に集合してください。詳細は受講決定後に本人へ連絡します。		
費用	宿泊費 1,400 円（700 円×2 泊），のと海洋ふれあいセンターの利用料金 630 円（210 円×3 日）と毎日の食費が必要です。詳細は受講決定後に本人へ連絡します。		
授業科目名	第2回金沢大学公開臨海実習：臨海実習2（野外実習2）		
単位数	1 （公私立大学の学生については単位認定を行わないかわりに受講証明書を発行します）	定員数	10
授業料の徴収について	なし		
受講生選抜基準と申し込み締め切り	先着順、定員を大幅に超える場合は抽選とします。申し込み締切：2025 年 7 月 11 日（金）		
選抜結果連絡法	本人宛に受講許可証を郵送します。		